

小中一貫教育校としての1年目をふり返って

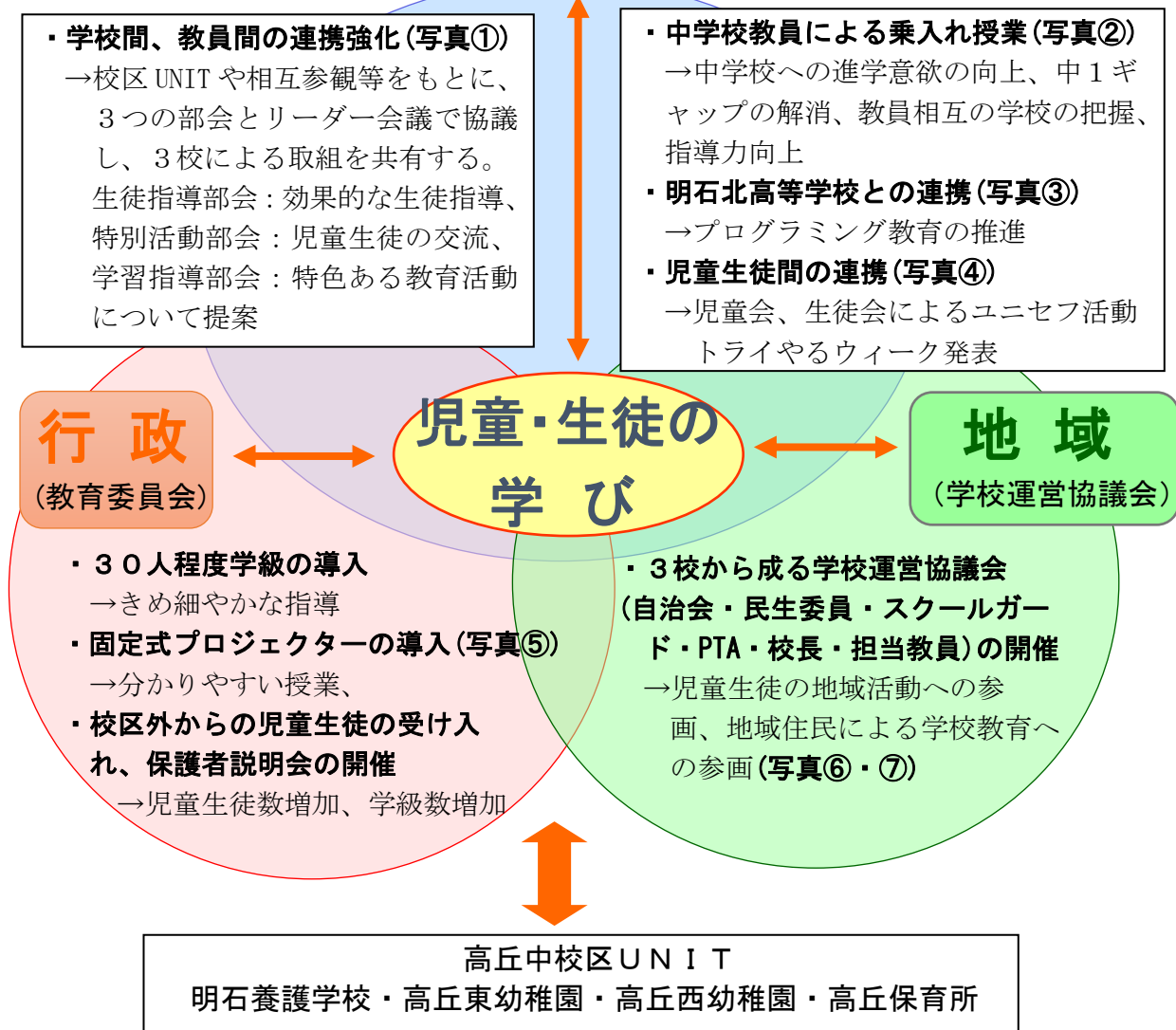
2021年4月、高丘小中一貫教育校がスタートした。前年度の準備期間が短かったことや、コロナ禍において3校で協議する場が十分に確保できなかったことから、取組内容はまだまだ発展途上の段階である。このような中、これまでの校区 UNIT を土台とした、共通目標や小・中学校教職員から成る推進体制を構築し、行政及び地域の協力を得て、児童生徒の学びの質の向上を図ることができた。

一貫教育校としての1年目の主な教育内容をまとめるとともに、3月に実施するリーダー会議（一貫教育校推進会議）において成果と課題について協議し、来年度に繋げていきたい。

【高丘小中一貫教育校共通目標】

「高い志をもち、未来を担う子どもの育成」

高丘中・高丘東小・高丘西小





①小・中学校教師による相互参観。授業を参観して児童生徒の様子や学習内容を把握します。



②中学校教師による6年生の外国語科授業。卒業前に中学校の先生方と交流します。



③6年生プログラミング教育の一コマ。明石北高校の先生方が来てプログラミングの基礎を指導



④トライやるウィークの一環で中学校生徒が小学生に分かりやすくプレゼンテーション。



⑤各教室に据え付けられたプロジェクター。児童のノートに書かれた内容も映し出せます。



⑥地域の方のご協力のもと、「かいぼり」に挑戦。ため池を存続させるための取組でもあります。



⑦地域の敬老会において小学生が受付係や進行役として参画。